



平成 26 年度事業報告

特定非営利活動法人夢ネット大船渡

住所 〒022-0003 岩手県大船渡市盛町字内ノ目 14-15
 Tel・fax 0192-47-3271 設立年月日 2006年12月14日
 理事長:岩城恭治
 会員:31人

メール npoyumenet@bz01.plala.or.jp
 ホームページ <http://www.geocities.jp/npoyumenet/>
 事業所 三陸鉄道盛駅ふれあい待合室
 〒022-0003 大船渡市盛町字東町裏16
 Tel・fax 0192-47-3542
 メール santetsufureai@snow.plala.or.jp



三鉄盛駅前イベント

◆ 被災者生きがい支援事業

ジャパン・プラットフォームから助成を受け、2名を雇用し下記のとおり仮設住宅で手芸講習を行い、被災した高齢者の生きがいづくりを応援しました。

(1) 手芸講習を 155 回開催し延べ 1,283 名が参加しました

自治体名	仮設住宅名	実施回数	延参加人数	1回平均
大船渡市	赤崎町鳥沢	11	66	6.0
	末崎町大豆沢	11	44	4.0
	末崎町平林	12	92	12.8
	末崎町太田	10	128	12.8
	三陸町黒土田	9	58	6.5
	三陸町杉下	12	164	13.7
	三陸町崎浜	12	94	7.8
	大船渡町上平	1	8	8.0
住田町	下有住中上	13	88	6.8
陸前高田市	高田町中和野	8	48	6.0
	高田町西和野	12	66	5.5
	高田町栃ヶ沢	11	84	7.6
	竹駒町滝の里	11	153	13.9
	竹駒町細根沢	2	13	6.5
	横田町横田中	11	113	10.3
	横田町横田小	9	64	7.1
計		155 回	1,283 名	8.3名



(2) 手芸指導者育成講習を開催



希望者を募集した結果、17名の受講者を迎え、講師に盛町の手芸店「あんでる」にお願いし、6月11日から11月5日まで10回開催しました。最後に8回以上受講した11名へ修了証をお渡ししました。

指導した手芸品は、①椿、②ひまわり、③クラフト(小物入れ)、④ストール、⑤ミニバックの5種類でした。

27年度の手芸講習へ役立てたいと思っています。

◆被災者支援情報誌「復興ニュース」発行・配布事業

岩手県福祉基金・公益財団法人公益法人協会からの助成、MS & ADゆにぞんスマイルクラブからの寄付金を受け、毎月2回(10日・25日付)各 4,000 部を発行し、大船渡市・陸前高田市・住田町の仮設住宅(一部除く)へ配布、公共施設・ショッピングセンター等へ置き、被災者を中心に市民へ、イベント情報や生活情報等を提供しました。

また、3ヵ月ごとに約 300 団体(気仙地域内市民活動団体やこれまで支援・指導頂きました管外の NPO 等)へ復興ニュースを郵送しました。

平成 26 年度 110 号～131 号(月 2 回各 4000 部発行)
配布ボランティアは 24 名と 2 団体にご協力を頂きました。



◆パソコン講習事業

- (1) 一般者対象講座 水曜日・金曜日の週 2 日間開催、年間 88 日開催、受講者総数 1,262 名
成果:皆勤賞 1 名、精勤賞(40 回以上受講) 7 名、就職者数 3 名、役職に専任 1 名 於:猪川地区公民館
- (2) 朋友館(大洋会)の就労移行教室
毎週水曜日開催、年間 38 日開催、受講者総数 190 名、成果:就職者 4 名 於:地域活動支援センター星雲
- (3) 特別パソコン講習の指導(受託事業)

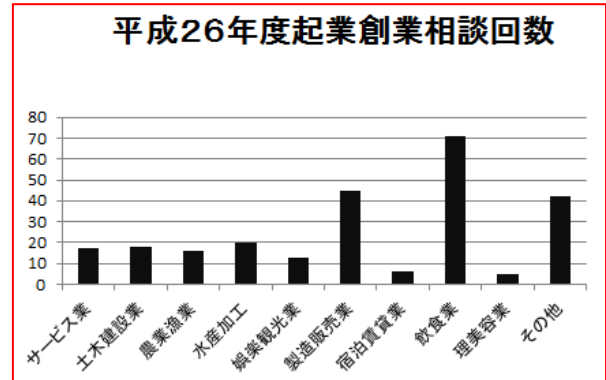
- ①住田町教育委員会主催 26 年 6 月 24 日(13:30～16:30)～7 月 12 日までの 5 日間
定員:10 名、受講者数延べ 47 名
- ②立根地区公民館主催 26 年 11 月 1 日(13:30～16:00)～11 月 28 日までの 5 日間
定員 10 名、受講者数延べ 45 名
- ③大船渡市体育協会主催 27 年 2 月 2 日(18:30～20:30)～3 月 24 日までの 16 日間
定員 16 名、受講者数延べ 210 名

◆起業・創業支援事業

「いわて定住・交流促進連絡協議会」から2名の派遣職員を受け入れ、一人は復興ニュース担当、もう一人が起業・創業支援事業を担当して頂いております。

大船渡市の起業支援室と連携を図り、起業・創業希望者の相談に対応しました。平成 26 年度は夢ネット大船渡受付が 203 回、大船渡市役所受付 50 回、合計 253 回の相談回数がありました。

右のグラフで明らかとなり、飲食業が71回(28%)、製造・販売業が45回(18%)と両業種で46%と約半分となっています。



◆「マジック(AMC 大船渡)」サークルを結成

公益財団法人いきいき岩手支援財団の助成を受けて、25年度から26年度の2年間、花巻市から講師を呼んでマジック教室を行って来ました。

26年12月に「アマチュア・マジシャンズ・クラブ大船渡」(略称: AMC 大船渡、会員10名)を結成し、放課後児童クラブや仮設住宅でのマジック披露を行っています。

- ② マジック教室:平成26年5月～12月まで8回開催
- ②猪川小学校学童クラブ、地の森仮設住宅、大船渡小学校学童クラブ、吉浜扇洞 PTA、高田小学校学童クラブでマジックを披露しました。



◆三陸鉄道南リアス線盛駅事業

岩手県から「三陸鉄道活用地域にぎわい創出事業」と三陸鉄道(株)から「盛駅業務」の委託を受け、平成23年10月から引き続き事業を実施し、26年11月15日に3周年記念イベントを行いました。

(1) 駅利用や企画列車

- ①盛駅ふれあい待合室利用者 延べ69,704名
- ②駅弁列車 12回実施 延べ534名
- ③駅からウォーク 10回実施 延べ146名
- ④歌声列車 4回実施 延べ206名
- ⑤無料法理相談お世話 11回実施 26件の相談
- ⑥ペアレンビール、くずまきワイン、銀河高原ビール、日本酒列車等計11回延べ514名、



⑦復興応援隊皆様のご協力により いわてさんりく恋列車1回41名

⑧大船渡市派遣職員招待列車、

盛駅周辺活性化フォーラム交流列車、大学生被災地視察列車

⑨その他、クリスマス列車2回107名、新春お楽しみ列車2回72名、

お雛さま列車1回33名、祝卒業列車2回44名、

(2) 駅前にぎわい創出イベント

①7月から10月までの土曜日と日曜日等、盛駅前にテントを張って、お茶のサービスや手芸品・三鉄グッズの販売を24回実施し売上総額248,650円となりました。

②荷物の預かり332件、レンタサイクル179件、子供服交換受付14件335点、バスダイヤ・JRダイヤ案内、観光案内、宿泊施設案内、飲食店案内、待合室内無料お茶サービス等を行いました。

(3) 盛駅周辺活性化フォーラムを2月20日、カメラアホールで開催しました。

(4) 手芸出品者による「こしゃる三陸」を結成し、カタログによる注文販売等を行いました。



◆地域内のネットワーク、県内外支援団体コーディネート

大船渡市民活動支援センターの運営委員、大船渡市アクションネットワーク参加、陸前高田市まちづくりプラットフォーム参加など、支援活動団体との連携に参加しました。

①「ノースジャニー2014」全国のミュージシャンによる盛駅前で

の演奏11月1日から3日間、②落語家「桂枝太郎さん」のポラ

ンティア落語披露、③鉄道模型展示運転サンリアショッピングセンターで11月29日・30日開催、④環境パートナーシップ食用油のリサイクル協力、⑤ヒューマンライツ・ナウの無料法律相談協力等々



◆スタッフ育成(東日本大震災現地 NPO 応援基金) 事業実施中

「大和証券フェニックスジャパン・プログラム2014」から、2014年10月～2015年9月までの1年間、NPO 法人の指導者育成として助成を受けて現在事業展開中です。目標は①NPO 法人の指導者育成②コーディネート力向上③自主財源づくりを行える人材育成です。

学習には「NPO リーダーのための15の力」(日本 NPO センター発行)をテキストに10回の学習と夢ネット大船渡の朝のミーティング後の読み合わせを行っています。また、自主財源づくりでは、三陸鉄道の企画列車や列車内サービス向上の中での財源づくりを検討中です。

◆夢ネット大船渡/盛駅ふれあい待合室パンフレットを作成

夢ネット大船渡の理解者を増やすためにパンフレットを作成しました。平成27年度も被災者支援事業と三陸鉄道活用にぎわい創出事業を展開します。※パンフレットは三鉄盛駅ふれあい待合室にあります

